

街から戻って、書を読もう

図書館長 大庭 健

情報の伝達は、どんどんデジタル化・映像化されています。たしかに、そのほうが手軽で便利です。しかし、そうした手軽さだけを求めていると、あなたたちの成長は、望み薄かもしれません。だって、そうでしょ？ ファースト・フードとカロリー・メイトだけで、ほんとに成長できます？

本を読む、というのは、疲れるけど、不思議な体験です。インターネットのサイトを見たり、DVDを満喫するのは、まったく違います。どの学部で、何を学ぶにしても、本を読むという受動的なようだけれどもスリリング、かつ能動的な体験を重ねてほしいと思っています。

このパンフレットは、そう思っている先生方が、「肩のこらない読書案内」ふうにした文章を集めたものです。どの先生も、自分が学生だった頃の読書体験を思い出しながら、「いまの君たちが読んで、損はないよ」と言える、オススメの本を案内しています。

その昔、「若者よ、書を捨てて、街に出よ」というセリフが、はやったことがあります。でも、今は、むしろ、こう言いたいと思います、「若者よ、街から戻って、書を拾え」と。

この読書案内を見て、「あ、この本について、この先生に聞きたいな」と思ったら、その先生の名前を明記して、library@acc.senshu-u.ac.jp にメールしてください。図書館は、あなたのメールを、その先生に転送します。そこから、あなたのかけがえのない大学生活が豊かになる一歩がはじまります。

どうぞ、この冊子を気楽に利用してください。